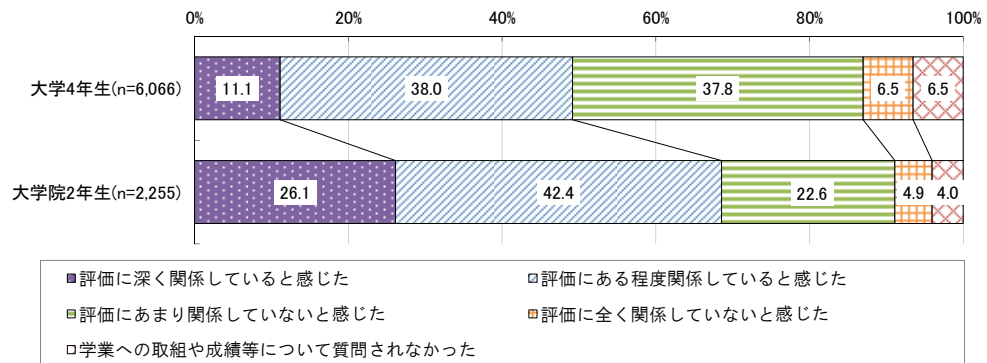


## (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかをたずねたところ、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は、大学4年生では約5割、大学院2年生では約7割となっている。

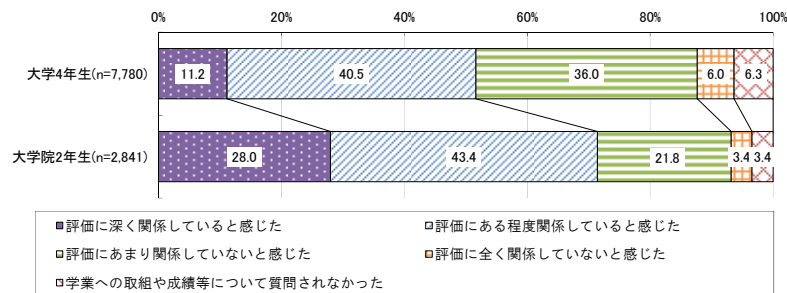
これらは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか

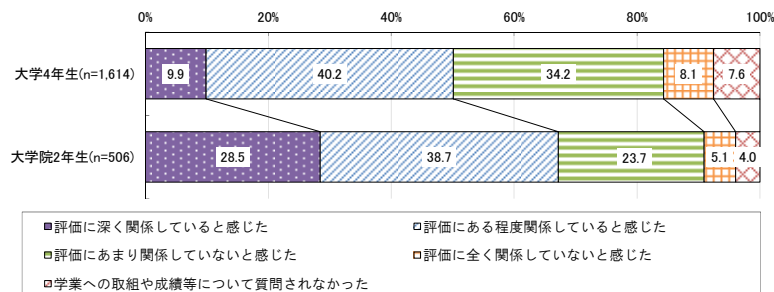


図表 4-2-2 【参考・過年度調査】 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか

<平成 28 年度調査>



<平成 27 年度調査>



### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

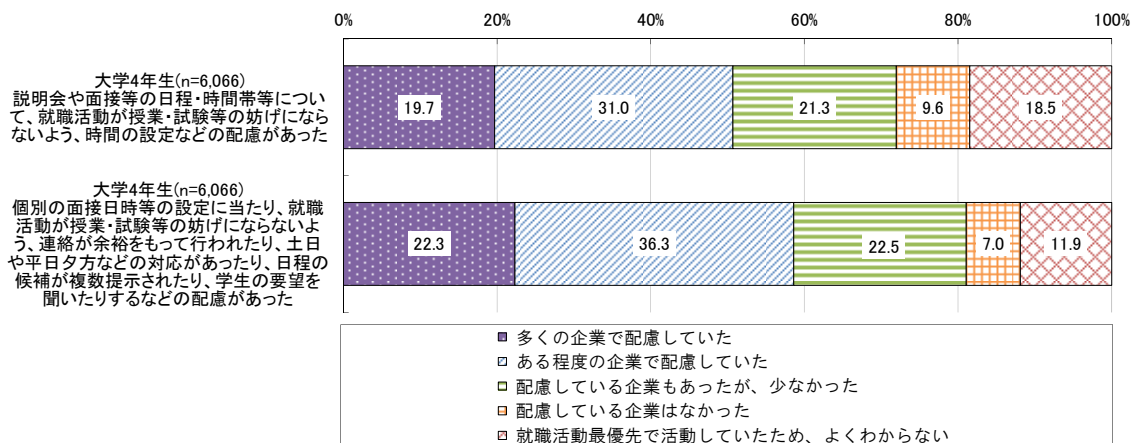
就職活動を行った企業において、学生の学業などに対する配慮がされていたかをたずねた。

「説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったか」に関しては、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合<sup>33</sup>は、大学4年生では約6割、大学院2年生では約7割となっている。

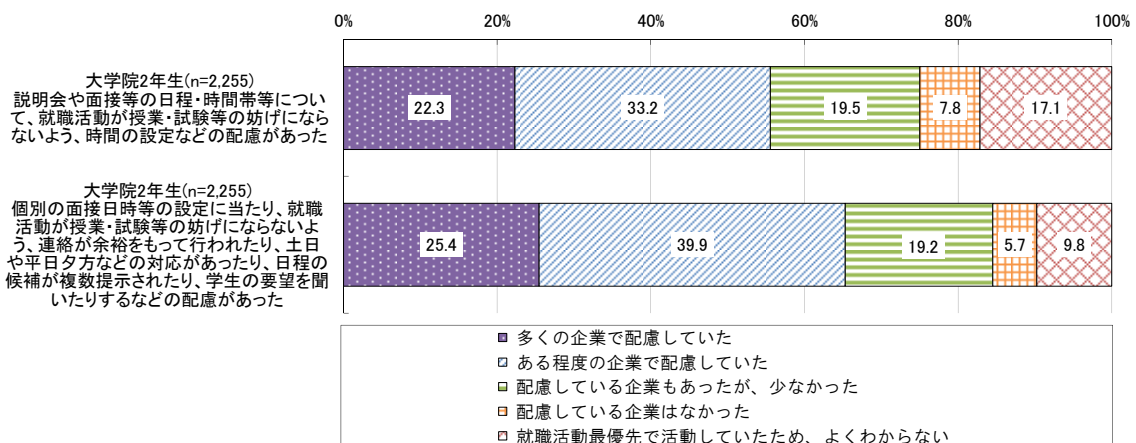
「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」については、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約7割となっている。

平成28年度調査と比較すると、それぞれの調査項目に関して、今年度は大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が若干高くなっている。

図表 4-3-1 就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学4年生）

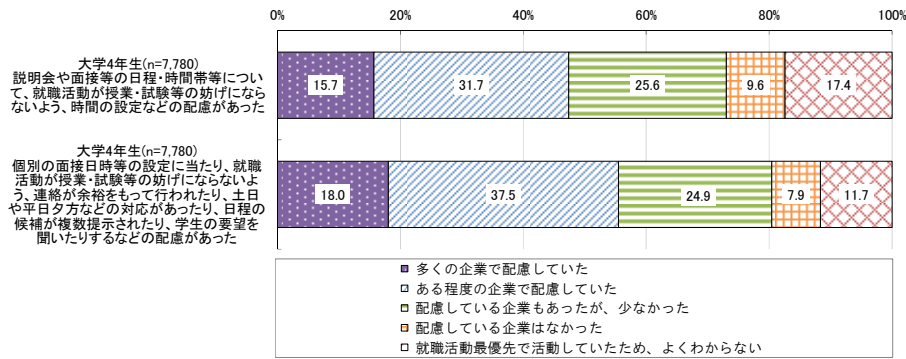


図表 4-3-2 就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学院2年生）

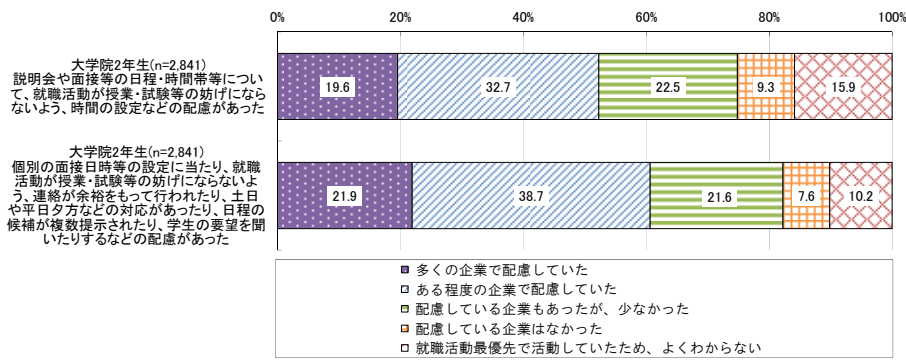


<sup>33</sup> 「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は集計の対象外とした。（「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」についても同様）

図表 4-3-3 【参考・平成 28 年度調査】就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学 4 年生）



図表 4-3-4 【参考・平成 28 年度調査】就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学院 2 年生）

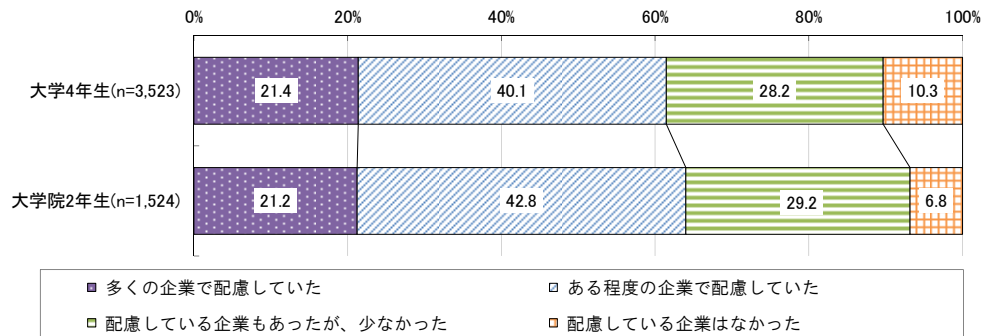


#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

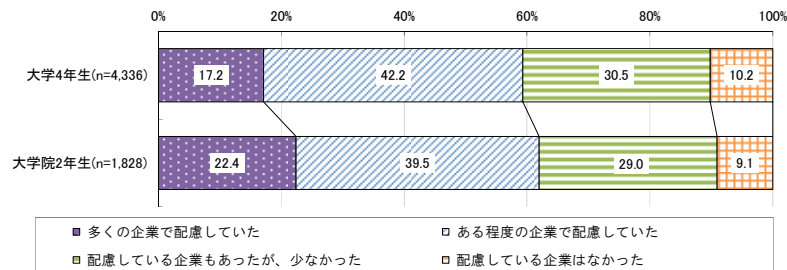
地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについてみると、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約6割となっている<sup>34</sup>。

平成28年度調査と今年度調査の結果はほぼ同様となっている。

図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況



図表 4-4-2 【参考・平成28年度調査】遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況



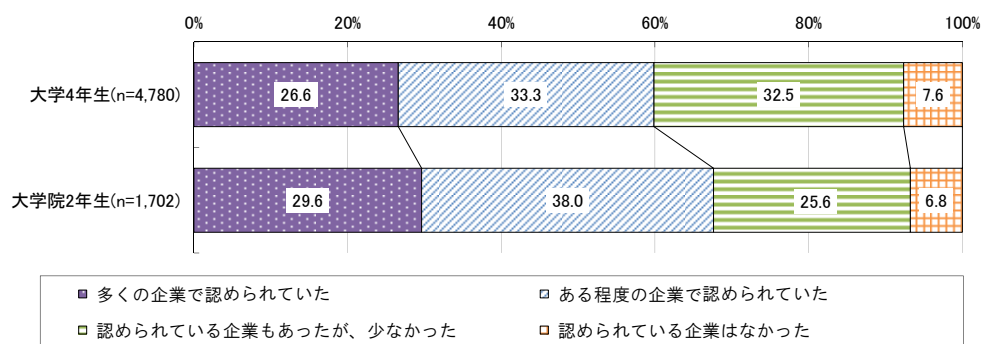
<sup>34</sup> 「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は集計の対象外とした。

## (5) クールビズでの対応

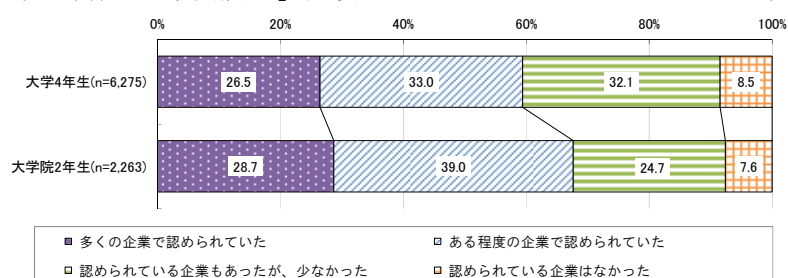
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについてみると、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は、大学4年生では約6割、大学院2年生では約7割となっている<sup>35</sup>。

平成28年度調査と今年度調査の結果はほぼ同様となっている。

図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況



図表 4-5-2 【参考・平成28年度調査】面接の実施におけるクールビズでの対応の状況



<sup>35</sup> 「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は集計の対象外とした。

## (6) 留学経験者への配慮

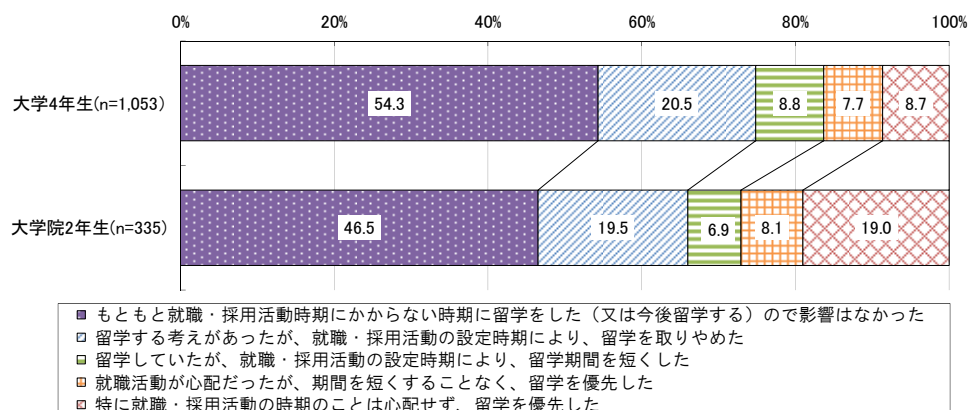
### ① 留学経験者（検討していた者）の状況

就職・採用活動の設定時期により、留学の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生・大学院2年生ともに、留学経験者（検討していた者）のうち<sup>36</sup>、約5割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響がなかった」と回答している。

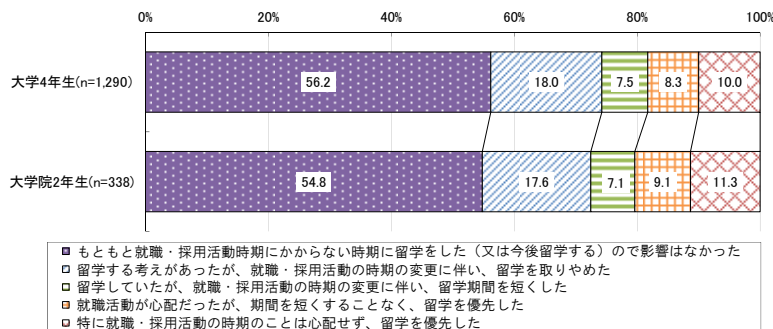
一方、大学4年生・大学院2年生ともに、約2割が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

平成28年度調査と今年度調査の結果はほぼ同様となっている<sup>37</sup>。

図表 4-6-1 留学経験者（検討していた者）の状況



図表 4-6-2 【参考・平成28年度調査】留学経験者（検討していた者）の状況



<sup>36</sup> 大学4年生では全体の82.6%が、大学院2年生では全体の85.1%が「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答しているが、ここではそれ以外の者を集計対象とした。

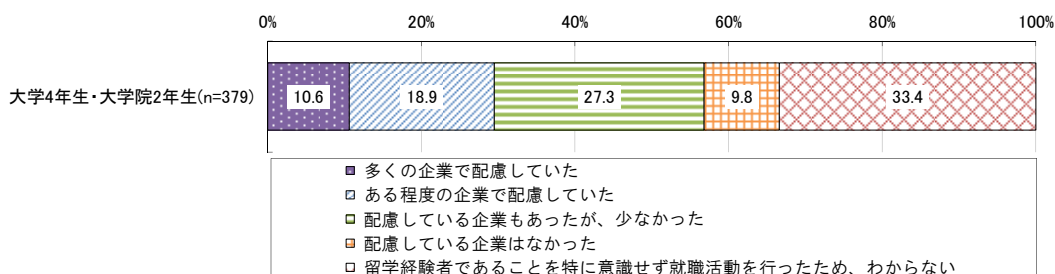
<sup>37</sup> 平成28年度調査では、大学4年生では全体の83.4%が、大学院2年生では全体の88.1%が「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」との回答であった。

## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

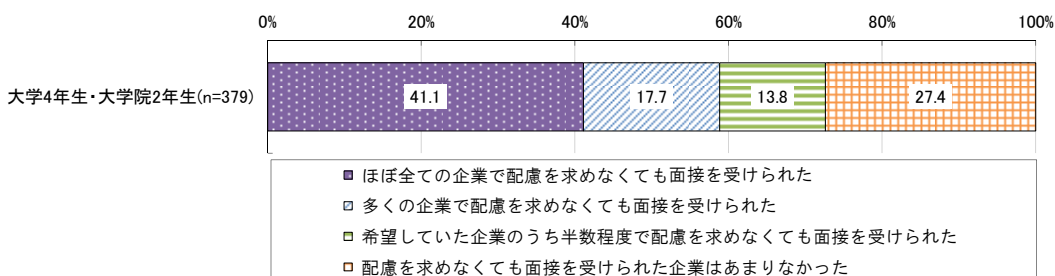
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者<sup>38</sup>に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかをたずねたところ、「わからない」との回答を除くと、約4割が「多くの企業で配慮していた」又は「ある程度の企業で配慮していた」と回答しており、平成28年度調査に比べ、この回答割合は若干減少している<sup>39</sup>。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかをたずねたところ、「ほぼすべての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答割合が約4割で最も高くなっているが、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との割合も比較的高くなっている。これは、平成28年度調査とほぼ同様の結果となっている。

図表 4-6-3 留学経験者に対する企業側の配慮の状況



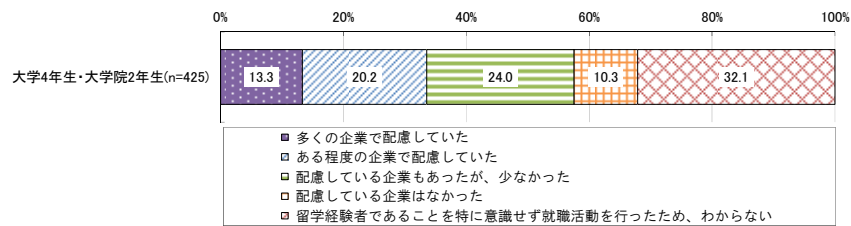
図表 4-6-4 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況



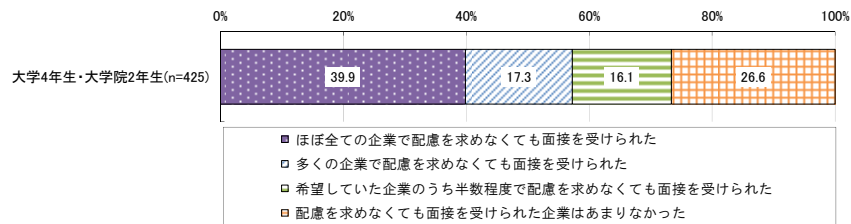
<sup>38</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した（以下同様）。

<sup>39</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

図表 4-6-5 【参考・平成 28 年度調査】留学経験者に対する企業側の配慮の状況



図表 4-6-6 【参考・平成 28 年度調査】留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況





### ③配慮を求めた際の対応等

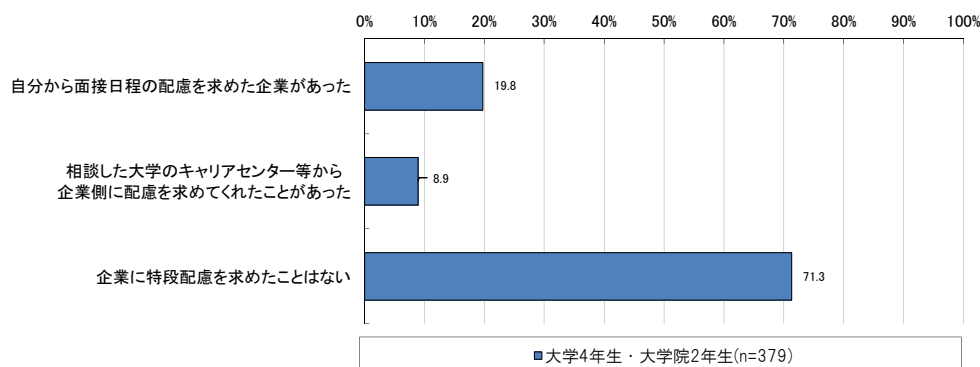
留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約2割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答が約1割であった。

自分から、あるいは大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合を合わせると、自分から配慮を求めた場合については5割以上、大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合については約4割となっている。

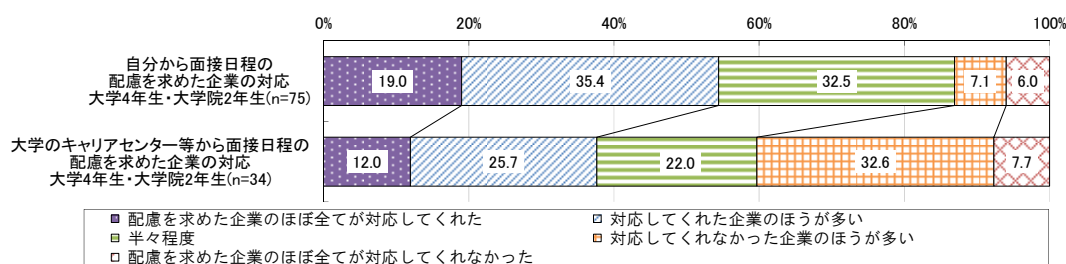
また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかをたずねたところ、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」との回答割合を合わせると約2割となっている。

なお、平成28年度調査と比較すると、「配慮を求めた場合の企業の対応」の回答割合に若干の違いが見られるが、ほぼ同様の結果となっている。

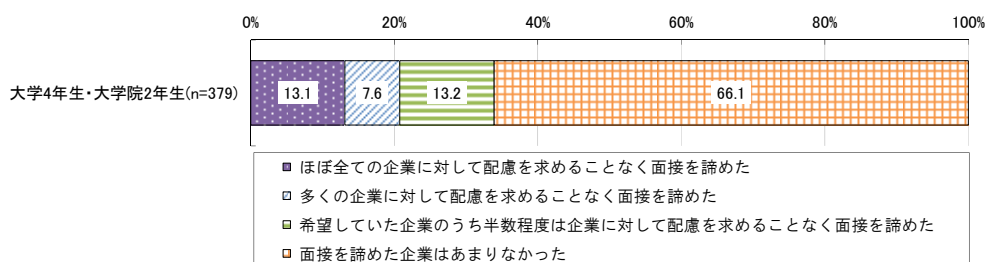
図表 4-6-7 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか (複数回答)



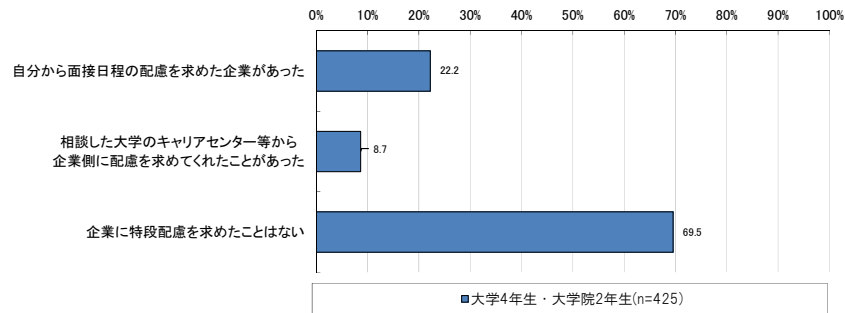
図表 4-6-8 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応



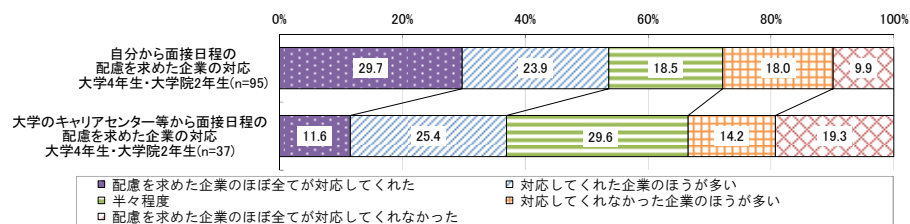
図表 4-6-9 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況



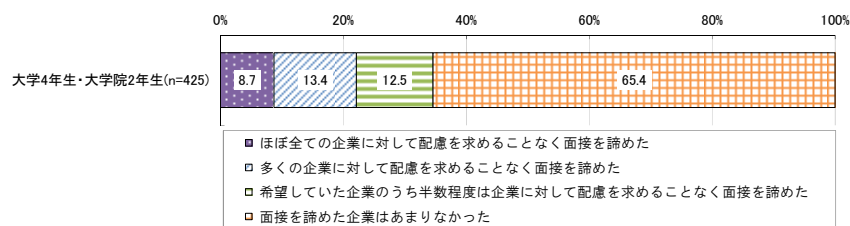
図表 4-6-10 【参考・平成 28 年度調査】 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか（複数回答）



図表 4-6-11 【参考・平成 28 年度調査】 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応



図表 4-6-12 【参考・平成 28 年度調査】 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況



## (7) 教育実習受講者への配慮

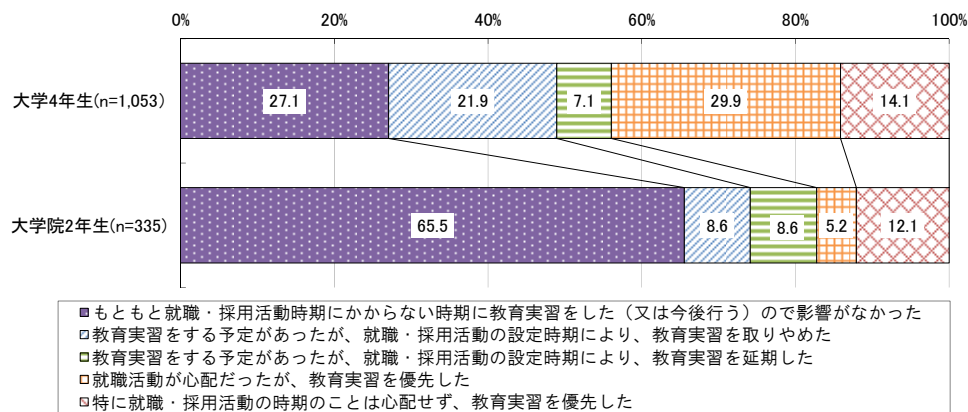
### ①教育実習受講者（検討していた者）の状況

就職・採用活動の設定時期により、教育実習の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生では教育実習受講者（検討していた者）のうち<sup>40</sup>、「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」、または「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」との回答割合がそれぞれ約3割と高くなっている。他方、約2割が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた」と回答している。

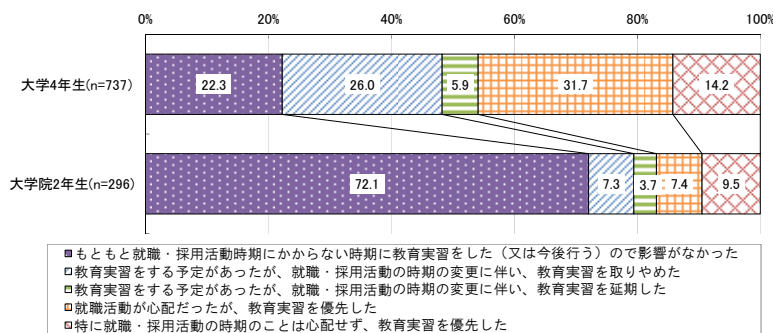
大学院2年生では、約7割が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」と回答している。「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた」と回答したのは約1割であった。

平成28年度調査と今年度調査の結果はほぼ同様となっている<sup>41</sup>。

図表 4-7-1 教育実習受講者（検討していた者）の状況



図表 4-7-2 【参考・平成28年度調査】教育実習受講者（検討していた者）の状況



<sup>40</sup> 大学4年生では全体の90.8%が、大学院2年生では全体の89.4%が「もともと教育実習を考慮しておらず、教育実習を受けていない」と回答しているが、ここではそれ以外の者を集計対象とした。

<sup>41</sup> 平成28年度調査では、大学4年生では全体の90.5%が、大学院2年生では全体の89.6%が「もともと教育実習を考慮しておらず、教育実習を受講していない」との回答であった。

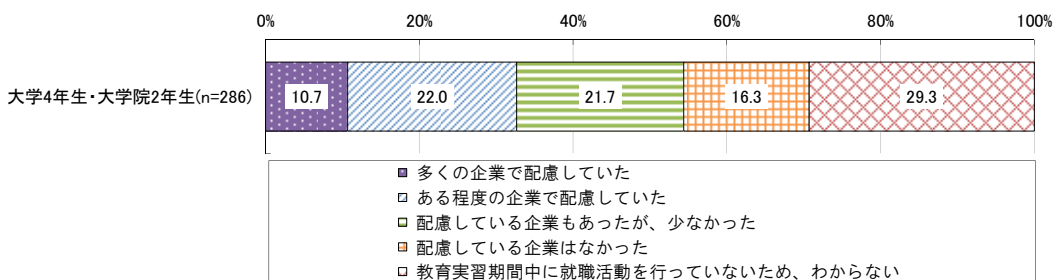
## ②企業側から教育実習受講者への配慮の状況

就職・採用活動期間中に実際に教育実習を受けていた者<sup>42</sup>に関して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかをたずねたところ、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」との回答割合が約3割と最も高いが、それを除くと、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」とを合わせた割合と、「配慮している企業もあったが、少なかった」「配慮している企業はなかった」を合わせた割合とが同程度となっている<sup>43</sup>。

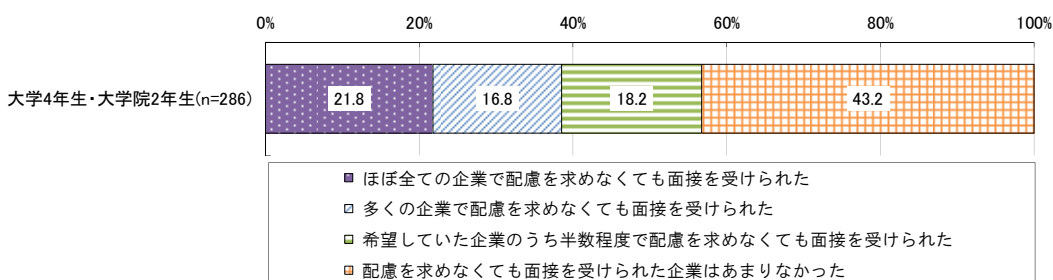
また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が教育実習と重なっていなかった、又は教育実習受講者等のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかをたずねたところ、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との回答が約4割、他方で、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答が約3割となっている。

なお、平成28年度調査と比較すると、配慮の状況について、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」とを合わせた回答割合が若干高くなっている。また、配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況について、今年度調査では「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との割合が若干低くなっている。

図表 4-7-3 教育実習受講者に対する企業側の配慮の状況



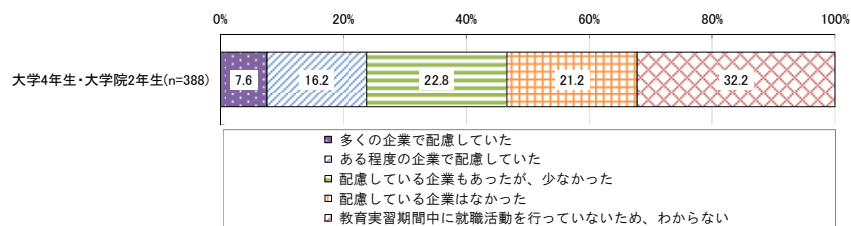
図表 4-7-4 教育実習受講者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況



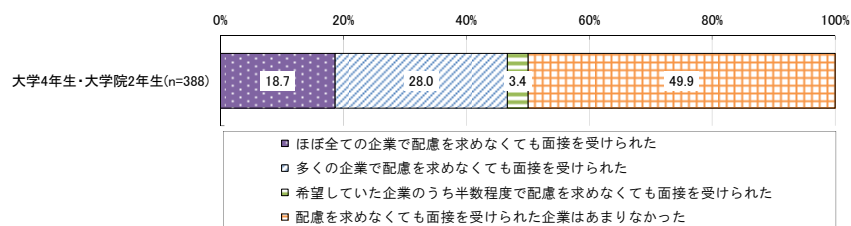
<sup>42</sup> 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した（以下同様）。

<sup>43</sup> 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

図表 4-7-5 【参考・平成 28 年度調査】教育実習受講者に対する企業側の配慮の状況



図表 4-7-6 【参考・平成 28 年度調査】教育実習受講者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況



### ③配慮を求めた際の対応等

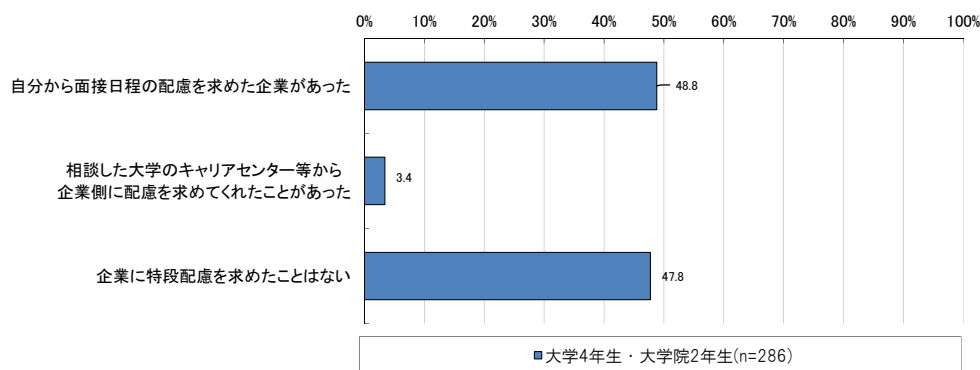
教育実習と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約5割となっている。

自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ<sup>44</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」との回答割合は合わせて約6割となっている。

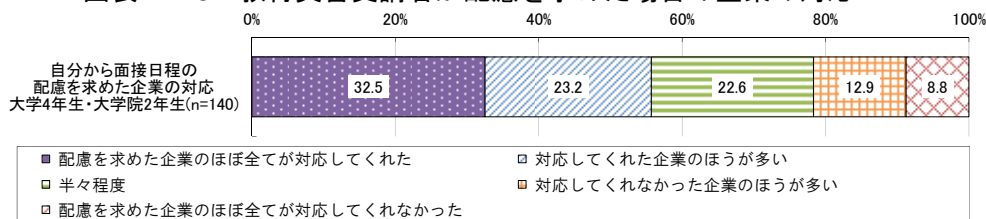
また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として教育実習と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかをたずねたところ、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答を合わせた割合は約2割となっている。

なお、平成28年度調査と比較すると、今年度調査では「配慮を求めた場合の企業の対応」として、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答を合わせた割合が高くなっている。

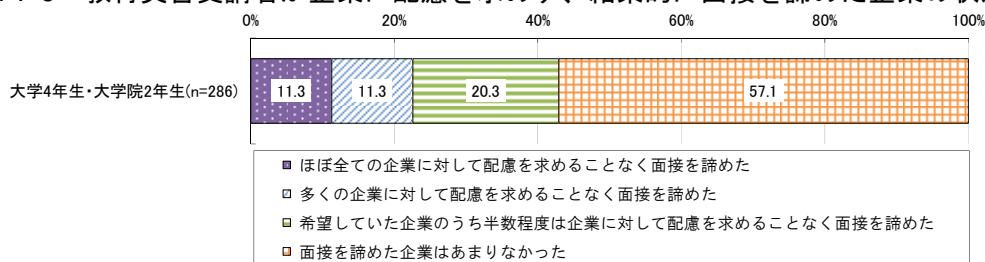
図表 4-7-7 教育実習受講者が就職を希望した企業に対して面接日程について  
配慮を求めたことがあったか（複数回答）



図表 4-7-8 教育実習受講者が配慮を求めた場合の企業の対応

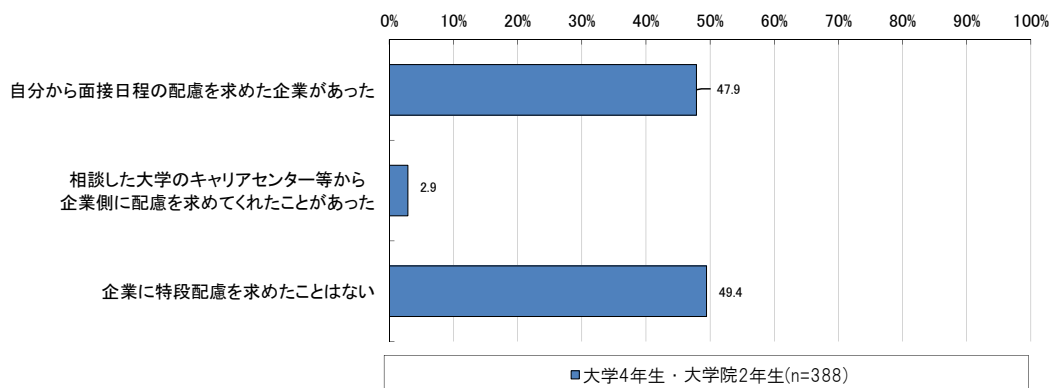


図表 4-7-9 教育実習受講者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況

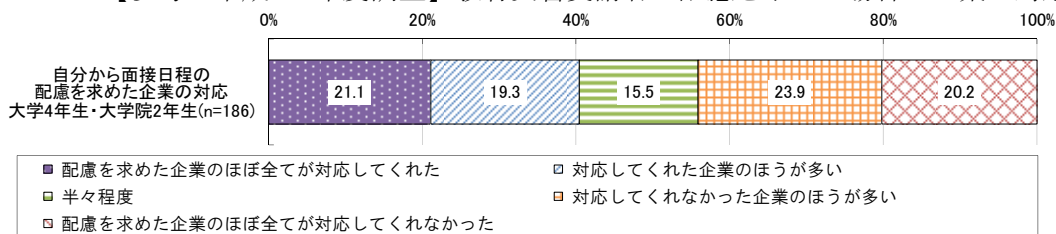


<sup>44</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の度数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

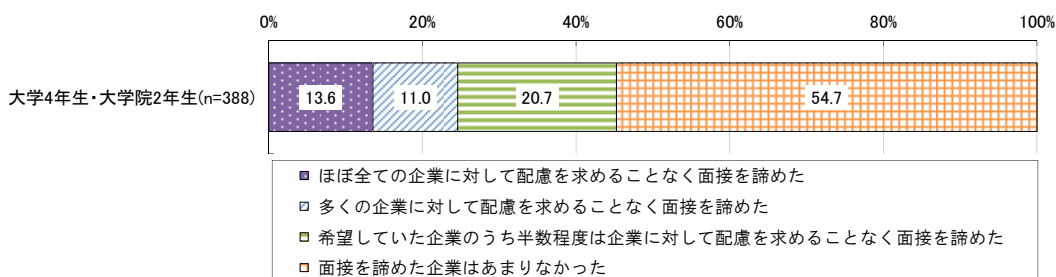
図表 4-7-10 【参考・平成 28 年度調査】教育実習受講者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか（複数回答）



図表 4-7-11 【参考・平成 28 年度調査】教育実習受講者が配慮を求めた場合の企業の対応



図表 4-7-12 【参考・平成 28 年度調査】教育実習受講者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況



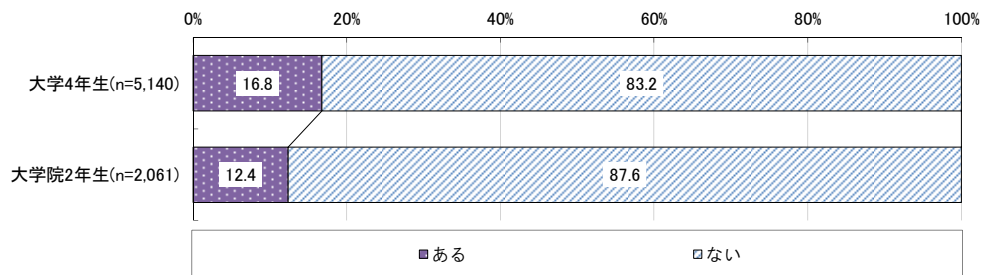
## (8) ハラスメント的な行為の状況

### ① ハラスメント的な行為の有無

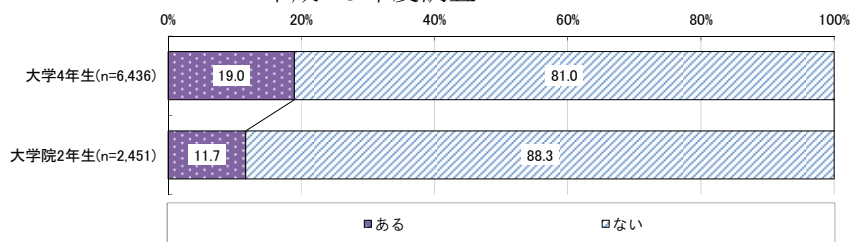
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたことがあるかをたずねたところ<sup>45</sup>、大学4年生では約2割、大学院2年生では約1割の者が「ある」と回答している。

なお、過年度調査と比較すると、大学4年生については今年度調査において「ある」と回答した者の割合が若干低くなっているが、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

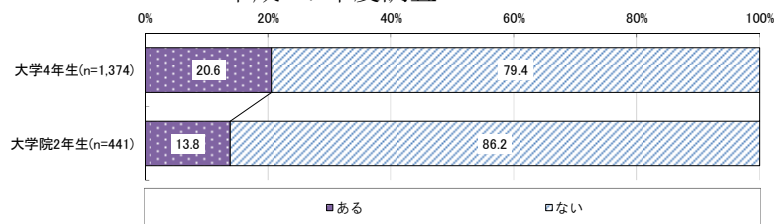
図表 4-8-1 企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無



図表 4-8-2 【参考・過年度調査】企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無  
＜平成 28 年度調査＞



＜平成 27 年度調査＞



<sup>45</sup> 今年度調査は、平成 29 年 8 月 1 日時点で内々定を 1 社以上から受けた者を集計の対象とした。なお、平成 28 年度調査については平成 28 年 8 月 1 日時点、平成 27 年度調査では平成 27 年 10 月 1 日時点で内々定を 1 社以上から受けた者を集計の対象としている。

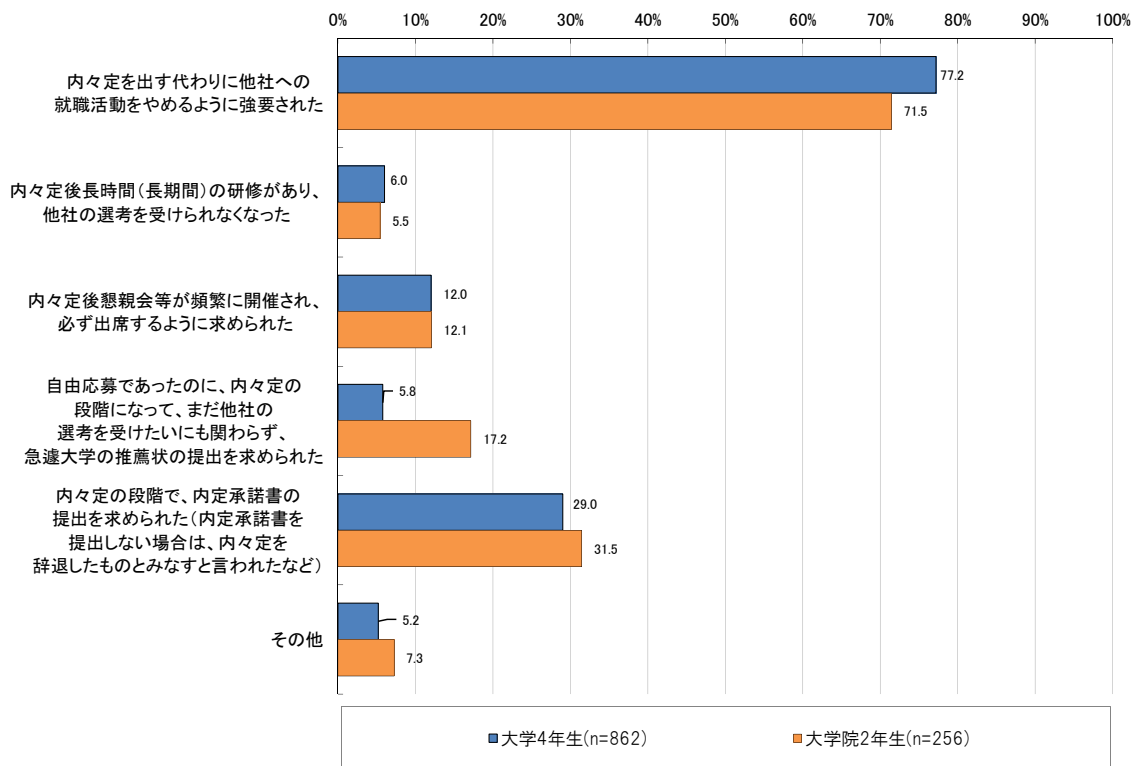


## ②ハラスメント的な行為の内容

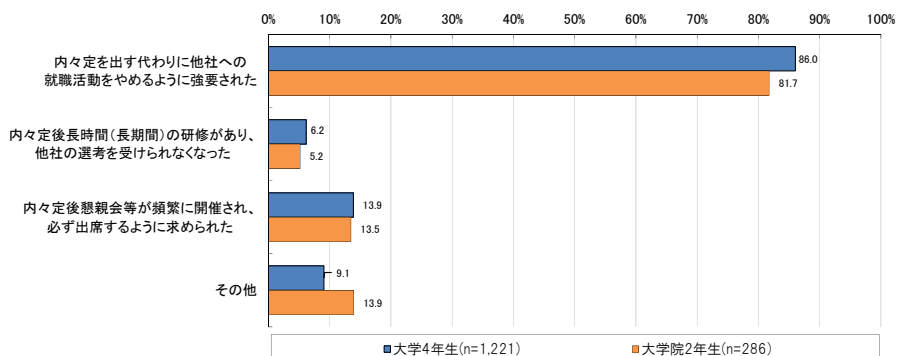
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたかについて「ある」と回答した者に、どのようなハラスメント的な行為を受けたかをたずねたところ、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」との回答割合が大学4年生・大学院2年生ともに7割以上となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約3割となっている。

なお、「自由応募であったのに、内々定の段階になって、まだ他社の選考を受けたいにも関わらず、急遽大学の推薦状の提出を求められた」との回答は、大学院2年生において比較的割合が高くなっている。

図表 4-8-3 企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）



図表 4-8-4 【参考・平成28年度調査】企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）

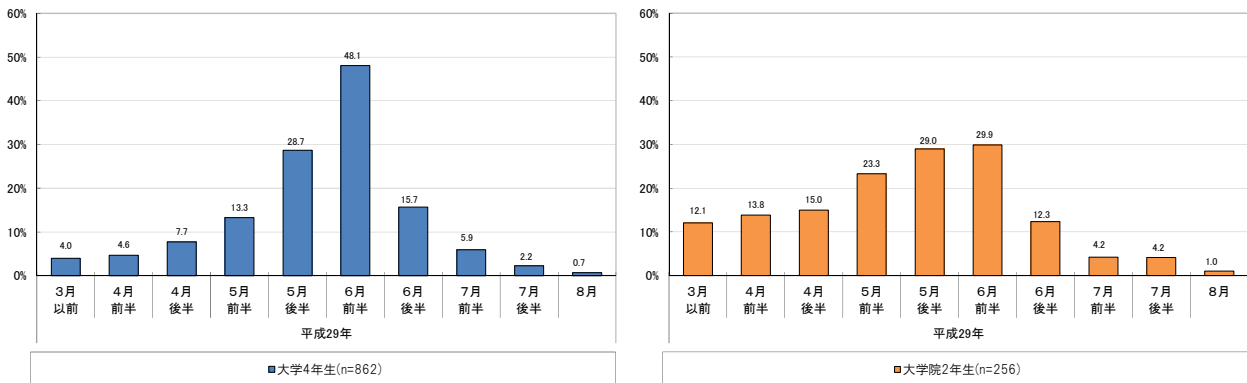


### ③ハラスメント的な行為があった時期

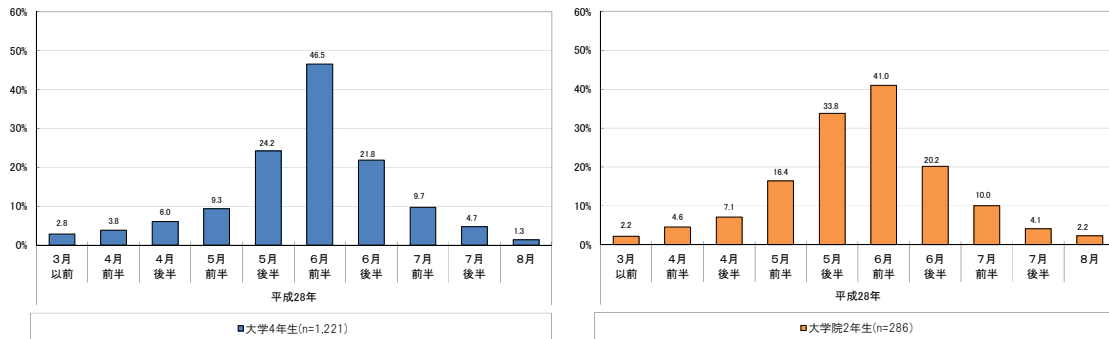
ハラスメント的な行為を受けた時期としては、大学4年生では「平成29年6月前半」との回答割合が約5割と最も高くなっている。大学院2年生では、「平成29年6月前半」の回答割合が最も高いが、それ以前の時期の回答割合も比較的高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、大学4年生・大学院2年生ともに、今年度においてはより早期の回答割合が高くなっている。

図表 4-8-5 企業からハラスメント的な行為を受けた時期（複数回答）



図表 4-8-6 【参考・平成28年度調査】企業からハラスメント的な行為を受けた時期（複数回答）

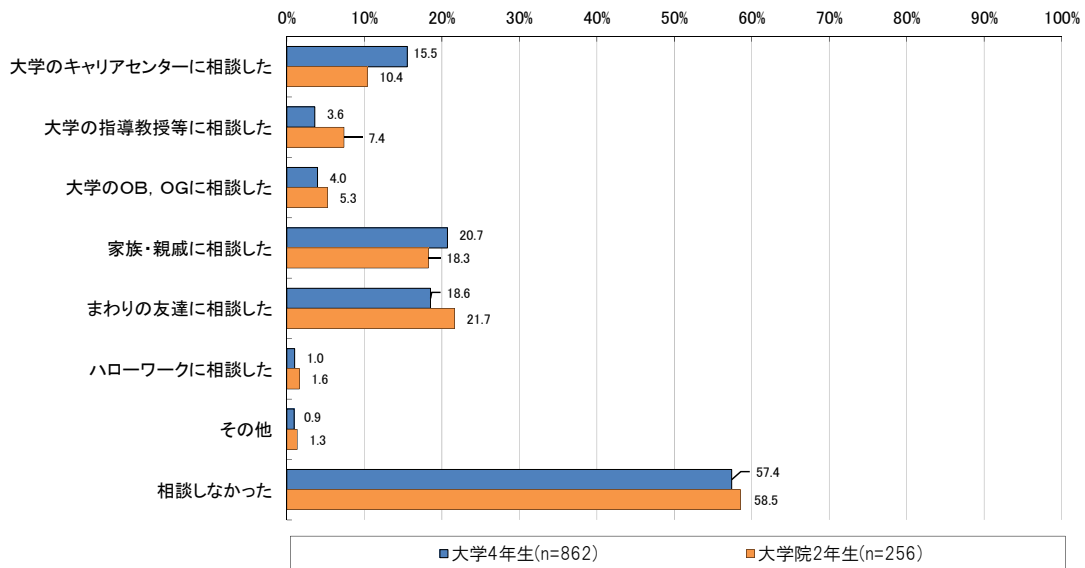


#### ④ハラスメント的な行為への対応

ハラスメント的な行為を受けた経験がある者について、その際の対応をみると、大学4年生・大学院2年生ともに、「相談しなかった」の回答割合が約6割と最も高くなっている。また、「家族・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」の回答がそれぞれ約2割となっている。

平成28年度調査と比較すると、今年度調査では「相談しなかった」の割合が若干高いが、他の質問事項については、ほぼ同様の結果となっている。

図表 4-8-7 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）



図表 4-8-8 【参考・平成28年度調査】企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）

